

宇津木台 森遊会 実施報告

「第10回定例活動」

No.2021-10

実施日	2022年1月23(日) 10:00~13:30	天候：曇り	記録：金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者：4名(女性1、男性3) 吉川、井手、野原、中村(弘) インストラクター：金森		

実施内容

活動11年目の第十回目。薄曇りでしかも1年で一番寒い時期の活動となった。

春に向けて竹林を整備する。枯れた夏草、伐りっぱなしの低木、僅かに残された竹藪を片付けて見晴らしを良くする。筍が顔を出せば確実に駆除できる状態となった。

八王子市所有の竹林のため勝手に竹を伐ったり、筍を駆除したり、動植物を捕ることはできない。アドプト制度に登録している森遊会だからこそ活動が許されている。

僅かに残された竹藪は住宅地との緩衝地帯となっていたが、棕櫚(シュロ)が繁茂し、夏から秋は蜂の巣の温床になっているので立派な竹だけを残して皆伐した。

作業の間、縄張りを主張するモズがじっと見ていた。今回は、巣箱をメンテナンスする。巣営を前に昨年の巣材を取り出し掃除する。壊れた屋根などを修復する。設置から10年が経ち、修復が困難な巣箱が増えてきたので、新たに6個組立てて入れ替える。



竹林に到着、ここ1年間の枯草や枝が散乱している



枯れた竹を積み上げる



モズが見張り番



およそ1時間でスッキリさせた



刈った草木は畑側の土手へ



一部残った竹藪



シュロが繁茂している



この竹藪は結構手ごわい



スッキリさせた



恒例、上手なブルーシートの畳み方



お疲れさまでした



竹林の全体像



見晴らしもいい



入口はあえて藪を残す



10年の年月を感じる

連絡事項 ・怪我、ヒヤリハットなし。 ・ボランティア袋小1個を指定の場所に置く。